応用地質研究会ヒ素汚染研究グループ

バングラデシュの水供給困難地域における安全な水利用のための環境教育

ひろげる助成
2年目
実 践

活動地域 バングラデシュ

安全な水利用のための教員研修	20人
維持管理支援による給水施設の利用	3,680人
今年度計画の達成度	50％
目標達成度	40％

教員研修での給水施設の視察

課　題

バングラデシュの水供給困難地域で、安全な水利用の持続的な実現のために、子どもたちが主体的に関わる環境教育実践の支援、環境教育モデルの普及、調査・解析・広報を行う。

目　標

目標は住民主体の給水施設の維持管理と持続的利用であり、子どもたちの実践活動や環境教育はその目標達成のための重要な手段として位置づけている。

活動内容と成果

ヒ素汚染地域と塩水化地域で実施した教員研修に参加した教員は、趣旨・内容を理解し環境教育実施に積極的であった。住民主体の給水施設維持管理支援は18施設のうち13施設481世帯が適切な維持管理によって安全な水を利用できている。塩水化地域でも5か所の停止した給水施設の住民に対して、利用者組合組織化支援と施設修繕作業を行うことができた。実態調査ではヒ素汚染地域、塩水化地域の合計10校で教員20人、生徒40人に聞き取り調査を行い、学校での水利用啓発セミナーに向けた課題、今後の展望を知ることができた。

復旧した給水施設で水を汲む住民

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響により学校閉鎖が続き、学校関連の活動が制限された。給水施設維持管理の状況把握が難しかった。

■工夫した点

現地NGOとオンライン会議を定期的に行い、状況把握、意見交換に努めた。オンラインによる教材提供で教員研修を支援した。

今後の展望

研修を受けた教員たちにより生徒を対象とした水利用啓発セミナーが実施され、その成果を子どもたちが地域に伝えていく。さらに学校、住民、地方行政関係者の参加によって、経験交流会とワークショップが実施される。

〒350-2201
埼玉県鶴ヶ島市富士見4-2-7-306